

1/19
四月

19年度の介護費用

10兆500億円で最高

高齢化で利用増

厚生労働省が十八日公表
した「〇一九年度「介護給付費等実態統計」による

度から調査。〇一年度に四兆三千七百八十二億円だった介護費用が一九年度には約二・四倍に膨らみ、利用者も約一・八倍増加した。

と、介護保険給付や自己負担を合わせた介護費用は前年度に比べ三千五百五十九億円増の十兆五千九十五億円に上り、過去最多を更新した。高齢化が進み、利用が増えた。

十兆円超は二年連続。今後も費用の膨張が見込まれる。

介護サービスの利用者も

九万三千百人増の五百一十七万二千三百人となり、最も多くなった。

厚労省は介護保険制度が始まった翌年度の〇一年

増えた。

介護保険制度は税、保険料、利用者の自己負担で賄われている。

要介護認定を受け介護サービスを利用した一人当たりの平均費用（〇四年四月審査分）は、前年同月比三千八百円増の月十九万八千四百円だった。都道府県別に見ると、鳥取の二十一万五千七百円が最高で、沖縄二十一万四千二百円、佐賀二十一万二千百円と続いた。最低は北海道の十八万七千四百円。

症状の軽い人が利用する介護予防サービスは一九年度に百九万二千九百人で、高齢化に伴い前年度から七万三千八百人（7・2%）